

ゆりぐみ 10月

朝夕、涼しくなり、日中の風にも秋を感じている子ども達。昨年、公園でトンボを捕まえたことを覚えていて、「トンボ見にいきたい」と秋の散歩へ出かけ始めました。「あっちへ行ったらどんぐりあるよね」という楽しかった記憶と「キノコあった！ブカブカブー」（絵本「まゆとブカブカブー」より）かも！という新たな発見を繰り返しながら、どんどん公園内に詳しくなっていく子ども達です。

先日の遠足では、雨の予報により、予定していた馬場公園までは行けませんでした。リュックを背負って総合運動公園まで行ってきました。落ち葉や木の実など秋を発見するたびに、保育者や友達と見せあい発見を共有することを楽しんでます。ホールでみんなでお弁当を食べ、とても嬉しそうな子ども達でした。お弁当などの用意、ありがとうございます！

表現会衣装の用意を

お願いします。

- ・ 白ブラウス、
または白ポロシャツ
- ・ 体操服ズボン
- ・ 白ソックス

11月7日（金）に袋に入れて持ってきてください。

※必ず、全ての持ち物、袋に名前を記入してくださいね。



《ゆり1組》

十五夜に向けてみんなで作った満月を部屋に飾っていたら、十五夜の日そこに魔女のシルエットが！しばらくするとシルエットがいなくなり、その下に折れたほうきを見つけました。「さあ飛んで」言っても飛ばないほうきに「夜じゃないからかな」「魔女がいたら飛ぶのかな」と思いを巡らせています。それでもほうきがあったらまたがってみたいもの。魔女になって楽しんでますよ。また、「ぼくのミックスジュース」を歌った経験から、ラキューで果物を作り、ミックスジュース屋さんが開店！「ミキサーでスープも作るよ」という家庭の経験を話してくれた子がいたことから、メニューには「魔女のスープ」も加わり、やりとりを楽しんでいます。経験からどんどん遊びが広がっていく様子に実験の大切さを感じます。



鉄棒でも
ほうきに乘った魔女♪



《ゆり2組》

部屋では、「からすのやおやさん」の野菜を作ることを楽しんだり、「まあちゃんのおまじない」の絵本から、まあちゃんのおまじないを唱えて変身したいという子がいます。まあちゃんからお手紙とはさみをもらったことで「バルバルさんもりへいく」の絵本を見て「髪の毛ちよきちよきと切ってみたい。」など床屋さんへの興味津々な様子が見られます。子どもたちの「こうしてみたい。」と言う気持ちを大事にしなが、現実と空想の世界を楽しんでいきたいと思えます。それが劇遊びに繋がっていったらいいなと思っています。

